

がんばってます 青年部！

京都青年中央会の野本会長と各青年部の代表者とのトークコーナーです。今回は京都府印章業協同組合青年部部長の福野 雅文氏にお話を伺いました。

其の三十四

京都府印章業協同組合青年部の巻



福野氏と取材の様子



京町屋で開催された篆刻講習会の様子



野本会長とがっちり握手

野本 まず青年部の御紹介をお願いします。

福野 京都府印章業協同組合青年部は今年で45周年を迎え、親組合に加盟されている事業所の次期事業主、現事業主、もしくはその従業員で構成しており、現在正会員（40歳まで）9名、準会員（45歳まで）4名、賛助会（定年無し）3名の計16名が所属しております。

野本 どのような事業活動をされているのですか？

福野 事業は主として実演会を各地で開催しております。特に10月1日がハンコの日という事もあり、その記念事業として、毎年9月の最終日曜日に下鴨神社の印璽社にて、神事のひとつとして親会と共同で“印納祭”を執り行っており、多くの方々が全国からお越し下さいます。その中で実演や篆刻講習会をしており、おかげさまで1日に定員50名の予約が1時間位で埋まる程の好評を頂いております。

野本 部員さんで印章以外のお仕事をされている方はおられるのでしょうか？

福野 やはり、はんこ、ゴム印等の製作販売がメインですが、昔からの範疇として名刺等の簡単な印刷物を扱っている業者もあります。そのため、統一性をとるといふより個性、特色が生かされる方向にあると思います、また、現在は「京印章」を京都ブランドに申請しており技術の伝承、発展を目指しております。

野本 ありがとうございました。最後に京都青年中央会へ期待されることをお聞かせ下さい。

福野 全国組織の利点を生かしたネットワークの構築や、中央会のホームページ等を通じての広報やアピールの場を提供していただきたいと思います。

野本 今後も会員の皆様のご期待に沿う事業を企画、案内させて頂きまので宜しくお願いします。福野部長、本日は事業開催中のお忙しいところ、有難うございました。

※1 取材時は申請中でしたが、12月5日に「京印章」が地域団体商標に登録査定されております。

（取材：文＝情報企画委員会：芳村 敦 特派員）

おたくのお仕事なにあに？

『新連携ビジネスプラン』の構築に欠かせないのが、「他の青年部はどんな仕事をしているのか?」、このコーナーでは、会員青年部の皆さんの仕事内容を紹介、会員青年部の持っている技術を紹介いたします。

京都塗料商業協同組合 こだま会

私達、京都塗料商業協同組合こだま会は京都府内で塗料を販売する業者の組合、京都塗料商業協同組合に加入している社店の従業員及び後継者87名で構成されており、今年で設立27年目になります。

「こだま会」の名前の由来は、挨拶が「毎度!」と言えば「毎度!」と“こだまのように返ってくるほどに親密な会”になるようにと願ってつけられました。

普段の活動は、親睦を目的としたレクリエーション的な行事や、塗料や塗装に関する知識を深めるための勉強会などを行っています。

レクリエーション的な行事としましては、納涼懇親会や、バーベキューやボウリング大会などで会員同士の親睦を深めようとしております。中でもボウリング大会は特に参加者も多く毎年賑やかに楽しく開催しております。勉強会では、最近の塗料は、最新の化学技術を駆使した多機能型塗料など、日々新製品がメーカーより発表されている一方で、逆に昔に戻った自然由来の塗料が求められるなど、塗料の種類が大変多岐に渡るため、絶えず新しい知識を身につけていかねばならない状況となっております。少しでもたくさんの知識を身につけ、各お客様の希望、要望に応えられるようになるために、毎回多くの会員の真剣なまなざしの中、開催しております。

塗料というものは簡単なもののようであって、建築、機械、車両、船舶、プラント、家具、楽器などや、普段目に付かない所、そして趣味の世界にまで大変多くの用途があります。それだけにまた専門的な知識や意見の求められる材料でもあります。各お客様のそれぞれのニーズや目的に合った塗料を選択し、そしてお客様に満足してもらえる。そんなプロフェッショナルを目指し活動し、また会員同士が明るく顔を合わせ業界を盛り上げて行く。そのようなことが、業界全体の底上げになるように考え、今後とも活動していきたいと考えております。

文＝会長 中川 善良

今後の事業予定

新春懇談会

- 日 時 平成19年1月27(土) 19:00~21:00
- 場 所 ホテル佐野家
京都市下京区東洞院通塩小路上ル
電話:075-371-2185
- 会 費 6,000円(当日徴収いたします)
12月28日(木)までにお申し込みください。

第二回青年部講習会

- 日 時 平成19年2月10日(土) 18:30~
- 場 所 京都東急ホテル(2F舞の間)
堀川通五条下ル西側
電話:075-341-2411
- テーマ 『こだわり人生』(講演会)
- 講 師 木村 勉氏
(天下一品グループ代表取締役社)
1935年(昭和10年)生まれ。71歳。
1971年(昭和46年)京都・北白川に屋台ラーメン店を創業。
3年半の歳月をかけて“こってり”と称される独特のスープが完成。
1975年(昭和50年)北白川にて1号店(現在の天下一品総本店)を開店以来全国に店舗をチェーン展開され、2003年(平成15年)には200店舗を達成。天下一品グループ4社を率いる社長として現在も第一線でご活躍されています。
- 会 費 500円(当日徴収いたします)
1月26日(金)までにお申し込みください。

京都青年中央会 設立25周年記念講演会

- 日 時 平成19年4月26日(木)
- 場 所 京都東急ホテル(堀川五条下ル西側)
- 講 師 スペル・デルフィン氏
(株式会社大阪プロレス 代表取締役社長)

京都青年中央会 設立25周年を記念して、講演会を上記の通り開催いたします。講師には、プロレスラーで、株式会社大阪プロレス 代表取締役社長でもあるスペル・デルフィン氏をお迎えいたします。

スペル・デルフィン氏には、プロレスのお話だけではなく、インディーズ団体の経営者というお立場から、そのユニークな経営や、オンリー・ワン企業としてのあり方、地域に密着した経営など、我々中小零細企業の経営にとってヒントになるようなお話をお聞かせ頂く予定です。

スペル・デルフィン氏

1989年3月にオランダアムステルダムにてプロレスラーとしてデビュー、以降ユニバーサル・プロレスリング、みちのくプロレスを経て2000年4月、出身地の大阪に大阪プロレスを旗揚げ。大阪プロレスのエースにして社長。その華麗な動きから"SENOR PERFECTO(セニョール・ペルフェクト=Mr.パーフェクト)"の異名をとる。

京都青年中央会 第26期通常総会

京都青年中央会 設立25周年記念講演会終了後に、同会場にて引き続き京都青年中央会 第26期通常総会を開催いたします。
総会終了後には恒例になりました懇親会もご用意しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

編集後記

年末の慌ただしさと緊張感。いろんなイベント盛りだくさん。先日、その帰り道に、ふと空を眺めたら、オリオン座がとっても綺麗に浮かんでいました。空が澄んでいる冬は、星も美しく見える季節です。しっかり防寒して豪華な冬の夜空を堪能するのもいいかな?なんて思いました。それでは皆様、良いお年を過ごされますように!